

# 府民利用施設調書

平成24年4月1日現在

施設名		京都府立山城郷土資料館						
施設概要	所在地	木津川市山城町上狛千両岩			設置年度	昭和57年（築年数30年）		
	設置目的	主に京都府南部の歴史、美術、考古、民俗などの資料等に係る次の事業を行い府民の文化的向上に資する。 1 収集、整理及び保存に関すること。 2 調査及び研究に関すること。 3 展示及び活用に関すること。						
	経過							
	施設機能	主要設備			主な利用料金(条例上限額)			
		展示室	普通展示：一般200円(150円)、小・中学生50円(40円)			特別展示：一般250円(200円)、小・中学生70円(50円)		
※括弧書きは団体料金(20人以上)								
第1研修室		午前：4,000円、午後：4,000円(1日利用はそれぞれの額の9/10)						
第2研修室	午前：2,100円、午後：2,100円(1日利用はそれぞれの額の9/10)							
		第1～3収蔵庫、研究室、作業室等						
指定管理者制度の導入施設の場合、その管理者		指定期間	直営施設		所在地			
		選定方法	業種					
収支と人員配置	収支実績 (単位：千円)	年度	21年度決算	22年度決算	23年度決算	24年度予算	備考	
		支出	管理運営費合計	79,282	74,788	74,046	73,282	その他収入には保存科学処理受託を含む。
			人件費	60,339	60,061	58,826	59,095	
			物件費	18,943	14,727	15,220	14,187	
		収入	収入合計	79,282	74,788	74,046	73,282	
			利用料金	403	494	440	880	
			その他収入	11,458	7,708	4,670	4,220	
			府支出額(一般財源)	67,421	66,586	68,936	72,402	
	収支		0	0	0	0		
	人員配置 (単位：人)	職員数		計	正職員	嘱託職員	臨時職員	その他( )
		8(うち非常勤2)	6	2(非常勤)				
利用状況等	利用者数	21年度	11,394(うち出前810)人				主要設備 利用率 (平成23年度)	
		22年度	12,247(うち出前1,026)人					
		23年度	13,580(うち出前2,219)人					
		ピーク時(23年度)	13,580人					
		計画数値	人				利用率 算出方法	
	利用の特徴 (府外・地元利用、年齢層等)	利用者の多くは、山城・乙訓地域で全体の約9割を占める。小中学校による学校利用が3割程度を占め(うち南山城地域の学校が約7割)、65歳以上の利用者は2割程度を占める。利用目的は、歴史の研究など資料調査等に伴う利用者(友の会など)も多く5割を占める。平成23・24年度はクールスポットとして無料開放。						
府負担コスト (平成23年度)	利用者1人あたりコスト (府支出額/利用者数)	1,785円 (5,109)円	府負担割合 (府支出額/収入総額)		98.2% (93.7)%			
今後5年以内の建て替え、耐震補強、大規模修繕等	必要性(有無)	内容	設備更新、屋上防水等					
主な代替・類似施設	類似施設：宇治市歴史資料館、城陽市歴史民俗資料館(常勤の学芸員不在) ※両館とも当該市域の文化財のみを扱う。 (参考・近畿府県立：滋賀県立安土城考古博物館(入館者数：②55,884人)、大阪府立近つ飛鳥博物館(②118,460人)、大阪府立弥生文化博物館(②90,556人)、兵庫県立歴史博物館(③96,378人)、兵庫県立考古博物館(③136,010人)、奈良県立橿原考古学研究所附属博物館(②62,447人)、和歌山県立博物館(②28,374人)、和歌山県立紀伊風土記の丘(②21,218人)							